

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援かいんどはびすま		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>各専門職がプログラムの作成に関わっている。</li> <li>一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行うことができている。</li> <li>保護者とのフィードバックの時間をしっかりと設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客観的な評価、アセスメントを行い、強みを活かした支援・弱みに対する環境調整や配慮を行っていききたい。</li> </ul>
2	週1回の研修を行い毎週小児、発達に関する研修や事例検討を行う機会があること	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務時間内に研修があることで、多くのスタッフが参加することができている。</li> <li>療育プログラムの検討やイベント等様々なアイデアを出し合いながら計画を立てることができる。</li> <li>お子様一人一人の状況を共通理解を図ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も積極的に事例検討会等を行い、職員一人一人の思いや意見を取り入れながら療育に活かしていききたい。</li> </ul>
3	ABA療育を行い、お子さまの発達を個別で行う時間を取っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>個にに応じた支援を強化するため、個別の療育の時間を設け、お子さまの得手不得手や発達の進捗を理解している。</li> <li>スモールステップでできることを増やしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的にお子さまの発達状況を把握し、療育に活かしている。</li> <li>できないことをお手伝いをしながらできるようにし、成功体験を積み重ねることで、さらにやってみたいという気持ちに繋げていきたい。</li> </ul>
4	子どもの発達状態に応じた小集団での支援を行なっていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>曜日によって小集団療育を設けて、年齢や発達段階に応じた支援を行っています。初めて集団を経験する場のお子さまには、職員がマンツーマンで付きながら、集団の流れに見通しを持って参加したり、進行役や教材に注目しながら一緒に楽しく参加できるよう支援している。また、集団になれてきたお子さまは、集団の中でルールや手順を理解して取り組んだり楽しく関わる経験を積める場となるよう支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに充実を図るために、子ども一人一人の発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修を実施していききたい。</li> <li>子どもの発達ニーズに応じた活動内容を提供していききたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方への非常時等への対応(緊急時・感染症等)に対する周知・発信不足の改善を図る。</li> <li>訓練等実施していることの発信不足の改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していききたい</li> <li>ホームページにおいて指針等を掲載したり取り組みをSNSやおたより等を通じて、保護者の方へ発信していききたい。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する取り組みが少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ交流の機会を増やしていきたい。また、地域の活動等の情報収集を行い療育に生かしていけるようにしたい。</li> <li>・研修会や保護者交流の企画立案において、内容に関しては保護者のニーズ・意見を聴取し、年間計画として立案していきたい。</li> </ul>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 総合発達支援かいんどはびすま

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 19

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1		・スペースについては、改善が難しいですが、公共施設を利用するなど安心安全な場を療育の際に提供できるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3				・バリアフリー化はできていません。部屋をその日の活動や面談において臨機応変に使うようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12				2	・他施設交流を行い、他施設のお子さまとの交流を年1回以上行って行きたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				・支援計画については、6ヶ月に一度面談の機会を設けて説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	1	1	1	・研修会を増やして欲しい ・次年度は、大学教授等をお招きし、発達支援のお子さまの特性等についての理解についての研修や、「性教育」や「食育」などの面からも随時、研修会を行右計画を立てています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			1	・面談の際に、助言をさらに行っていきたいと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1			3	・保護者説明会や、おしゃべり会などを行い、保護者間の交流を行っている。次年度はきょうだいも参加できるスポーツ大会や夏祭り等を実施予定です。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			2		・相談のしやすい雰囲気作りに努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		・今後も十分に留意して行きたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			1		・引き渡し訓練を含む、避難訓練を実施予定です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		1		・毎月、避難訓練を実施している。保護者への日々の活動でのお知らせや「X」や「Instagram」等で更新を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		・安全点検及び、研修を行い支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3		・首より上のケガについては保護者様より指定医院の受診、または連携医療機関へ受診を行います。ケガや体調不良については必ず電話、訪問での説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		総合発達支援かいんどはびすま		公表日		令和8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・個別療育のスペース、集団療育のスペースと柔軟に場所を配置しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	10		・可能な限り、1対1を基本に療育に携われるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	・整理整頓を心がけ、安全に活動ができるように、活動内容や部屋の割り振りを行っています。	・バリアフリーの対応はできておりません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・安全な物の配置、季節によって視覚的に飾りがあり季節や年中行事を感じられるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・部屋で分けるだけでなく、パーティションを使い個別の空間を作れるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		・児童への対応方法など会議を開いているので意見が言いやすい雰囲気作りをしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・研修等で共通理解を図れるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・意見しやすい環境が整っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	・保護者の意見や考えは真摯に受け止め、業務改善に努めています。	・評価を共通理解を図り、今後の業務改善につなげていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・様々な研修や資格取得のための研修には積極的に参加出来るように職員への声かけを行い参加を促しています。	・内部、外部問わず、研修の機会を増やし、お子さま、保護者様から選ばれる事業所となっていけるように努力したいと思います。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・療育プログラムにおいては、振り返りを行い、評価、計画のねり直しなど随時向上できるようにしている。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		・半年に1回、保護者、通園先の先生にお願いし、アセスメントを取るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・子どもたちとの関わりの中で感じたことや疑問点を常に検討できる職員間の雰囲気作りを努めています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・療育の際に確認できるようなファイルを作り、検討だけでなく、常に身近に支援計画が見られる工夫をしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・随時確認しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・設定しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・計画的に立案ができるように日程を調整しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・5領域をまんべんなく実施できるように配慮するとともに、一度行った物も改善をしながら取り組めるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・個別、集団の時間を確保しながら療育を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・朝の打ち合わせ、昼食後にもミニ打ち合わせを行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・支援終了後はその日の療育の様子だけでなく、今後の療育についても話し合うようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	・療育内容に合わせて、評価と一体化した記録を心がけています。	・取った記録を療育へどのように活かしていくのかを今後検討していきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・担当職員を中心にモニタリングを行うようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・児発管を中心に担当職員が同席するケースや担当職員ができるだけ会議に参加出来るようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・保育園、幼稚園、保健センター、ポータル等の機関と積極的に連携を取るようになっています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・面談を行い、支援計画等の共通理解を図れるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・面談を行い、支援計画等の共通理解を図れるようにしています。	・特別支援学校、各小学校との連携ができています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		・現在、必要性がない。 ・児童発達センターが地域にない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	・他施設のお子様や、地域の交流スペースをできるだけ使うようにしています。	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は現在計画である。地域の中で他のこどもと活動する機会には地域の交流スペースなどで遊ぶ機会を設けています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	3	・面談だけでなく、送迎の際に気軽に話し合える雰囲気作り努めています。	・月1回の研修において、お子さまの情報について共通理解を図るようにしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・保護者おしゃべり会を行い、SSTやABAなどの研修を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約の際に詳しく説明を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・面談を通して保護者の思いや相談支援員の方との話し合い、通園先の職員との話を元に計画を立てるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		・面談の際に項目を確認しながら説明を行い、同意を得ています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・不安や心配なことがあればいつでも連絡ができるような関係を気付けるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		・保護者おしゃべり会やイベントへの兄弟への参加などを促す活動を積極的に行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・対応しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		・ホームページやSNSを使い活動の様子を全体にお知らせするだけでなく個別に活動の様子を具体的にお知らせしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・十分注意しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・配慮できるように心がけています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	・市役所でのワークショップへの参加や大型ショッピングモールでのワークショップなど地域の方とのふれあいの場を設定しています。	・ワークショップの開催など地域の方や他施設、地域の他のお子様との交流を積極的に行う工夫をしている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・マニュアルの策定だけでなく、訓練をしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・業務継続計画の策定や訓練を行っています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	・服薬状況確認しています。	・服薬については、面談の際に処方箋等のコピーをいただき対応していきたいと思ます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・食物アレルギーについては、契約の際に確認しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・安全計画を作成し、担当職員が役割を意識して行動できるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		・引き渡し訓練の実施など様々な災害に対応できるようにしています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・どんなに小さなケガでも、ヒヤリハット事案として共通理解を図り再発防止に努めています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・虐待防止マニュアル等を確認し、お子様が安心して療育できる場となるように配慮しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		・身体拘束マニュアル等を確認し、お子様が安心して療育できる場となるように配慮しています。	・さらに改善できるように努力していきたいと思います。	